

脆弱な皮膚に対する予防的スキンケア －高齢者のスキントラブル，尿・便失禁によるスキントラブルによる対処法－

大分大学医学部附属病院

創傷・オストミー・失禁（WOC）認定看護師 芦田幸代

スキンケアは、創傷・オストミー・失禁看護（WOC看護）領域のすべてに共通し、基礎となる部分で、皮膚障害を起こした皮膚や皮膚障害のリスクの高い脆弱な皮膚に対して、健康な皮膚を取り戻すことを目的としている。または排泄ケアは、身体機能の低下などによって、正常な排泄機能が失われた患者に対して、人間の尊厳を保ち、そして生きる意欲を持たせるケアであり、看護の基本的な部分である。

21世紀は、病院や在宅の場においても高齢者が増加している。加齢に伴う皮膚の老化とともに、疾患を伴うことで低栄養状態、免疫および代謝機能の低下、化学療法や放射線療法などによって脆弱な皮膚となり、組織耐久性が低下する。また、尿や便失禁によってオムツを使用し、更に皮膚が侵軟することで、褥瘡発生のリスクも高くなる。さらに経口摂取が難しくなり、経腸栄養法のひとつであるPEG（経皮内視鏡的胃瘻造設術）を施行している高齢者も増加し、経腸栄養の開始とともにすぐに下痢となることが多く、急激に皮膚障害を起こすケースも増えている。

予防的スキンケアは、最も基本的な看護のひとつであり、皮膚の構造や生理機能を理解した上でケアの方法を習得する必要がある。このことは、褥瘡の発生を予防することと、人間の尊厳を保ち、そして生きる意欲を持たせるケアともにつながる。

今回、基本的な皮膚の構造や生理機能を説明した上で、予防的スキンケアを実際にも実演してみる。また、臨牀の場で活かしてもらえるように、尿および便失禁に対して粉状皮膚保護材・板状皮膚保護材・肛門パウチ、オムツの当て方などの使用方法も実演する予定である。

